

# AIRDO CHANNEL

「AIRDO CHANNEL」ではAIRDOが力を注ぐさまざまな取り組みを隔月でお知らせします！



## AIRDOは「そらぶちキッズキャンプ」の活動を応援しています

～病気と闘う子どもたちに笑顔を～



馬との触れ合い(2021年6月/夏)。



見晴らしの丘で雪合戦(2023年2月/冬)。



夕食後のお話会(2023年2月/冬)。

「そらぶちキッズキャンプ」は、小児がんなどの難病と闘う子どもたちとその家族を、全国各地から医療ケア付きキャンプ場へ無料で招待し、北海道の豊かな自然の中で、病気や障害のことを気にせず、思いきりキャンプを楽しんでもらう活動を行っています。AIRDOもその活動を応援する〈公益財団法人そらぶちキッズキャンプ〉佐々木健一郎事務局長にお話を伺いました。

### キャンプ体験が宝物のような思い出に

北海道滝川市丸加高原にあるキャンプ場には看護師が常駐し、キャンプ期間中は参加する子どもの病状に合わせた専門の小児科医も一緒に寝泊まりします。闘病を“がんばっている”子どもたちや兄弟姉妹、お母さん、お父さんたちに、非日常でスペシャルな遠足、旅行のようなキャンプをプレゼント。この取り組みは、多くの企業・個人の寄付、ボランティアの力に支えられ、これまで1200名を超える難病の子どもと家族を招待することができました。キャンプでのチャレンジや思い出は、心の宝箱に大切にしまわれ、きっと日常生活に戻ったときのエネルギーになると信じています。

コロナ禍が続いた3年間は、同居する1家族のみを対象として、感染症対策を徹底したキャンプを定期的実施。写真(上)は、そのうちの2021年6月、主治医と共にAIRDO便に搭乗、旭川空港に到着し、キャンプ場を訪れた家族の様子です。北海道で3泊4日のかげがえのない時間を過ごし、自宅に戻った車いすの男子は、キャンプでの楽しかった思い出を家族と振り返りながら話す日々のなかで、天国に旅立ちました。その後も残されたご家族とキャンプ場とのやり取りは続き、2023年2月の冬キャンプにもう一度、招待することができました。1年半前と同じルートで旭川空港からキャンプ場入り。真っ白な世界で、それぞれが“家族”を想い、感じる時間になりました。これからも、参加した家族にとってやさしい思い出の場所であり続けたいと考えています。



公益財団法人そらぶちキッズキャンプ  
滝川市江部乙町丸加高原4264-1  
TEL:0125-75-3200  
<https://www.solaputi.jp/>